

令和2年度

第2回加賀市地域公共交通会議

第3回加賀市地域公共交通活性化・再生協議会

議事録

日時 令和3年2月25日(木)
午前10時00分～午前11時30分
場所 加賀市役所302・303会議室

令和2年度 第2回加賀市地域公共交通会議
第3回加賀市地域公共交通活性化・再生協議会

日 時 令和3年2月25日(木)
午前10時00分～午後11時30分
場 所 加賀市役所302・303会議室

1 開会

事務局

本日は、お忙しい中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。まず、皆様にお詫び申し上げます。本会議の資料についてですが、本来は皆様に事前に送付するべきところを、当日に配布するという形になりまして、誠に申し訳ありませんでした。

それでは、令和2年度第2回加賀市地域公共交通会議及び第3回加賀市地域公共交通活性化・再生協議会を開催いたします。

会議成立報告

事務局

まず始めに、会議の成立報告を申し上げます。

本日の会議の出欠状況につきましては、2名の委員が欠席であります。過半数に達する出席となっておりますので、加賀市地域公共交通会議設置要綱第7条第3項及び加賀市地域公共交通活性化・再生協議会規約第7条第3項に基づき、本日の会議は成立していることをご報告いたします。

この後の進行につきましては、会長にお願いしたいと思います。

それでは、会長、よろしくお願いいたします。

2 報告

会長

本日は、お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

私は、東京から参加させていただきます。今年から副市長がおっしゃったように、スマートシティ課に統合されて、総合的に未来の交通、生活などの面において、ワクワクする生活、ワクワクライフを構築していこうということで、素晴らしいことだと思います。私も参加させていただきますので、いろいろと忌憚のないご意見を頂戴して、制約はありますが、未来を創るイメージを構築してければと思います。

今日はいくつかの議題と報告、MaaS実証実験が進んでいるようです。その報告があります。最初にこの会議では公共交通の利用状況を共有化するようにしております。実態を把握していただいて、変化を共有して、気づいたことを変更していくというような仕組みになっています。それでは、事務局から説明をお願いします。

事務局

(資料読み上げ)

会長

ありがとうございます。

昨年度と比較して、CANBUSの通学関係はほぼ横ばい。路線バスは30%減、乗り合いタクシーは20%減という、コロナの関係で自粛された結果が数値に出ているのではないかと思います。

そして、緊急事態宣言の状況によって、推移しているということがつかめると思います。3割減あるいは2割減の中、コロナに対応しながら、リスクに配慮しながら、事業を継続されている努力には感謝申し上げます。みなさんの生活の足ですので、維持存続するということが大事だと思います。

事業の存続についてのご苦勞がありましたら、少し紹介していただければと思います。

事務局

質問が出ていますので、先に質問させていただいてよろしいでしょうか。

委員

ご説明の路線バスのくだりで、新型コロナの影響の状況の中で特に触れられていませんでしたが、1月大きく減っているのは雪の影響もございませうか。

事務局

1月については、雪の影響もあったかと思っております。運休も発生しておりますし、雪の影響も含めた数字と認識いただければと思います。

会長

それでは先ほどの私から申しあげた、ご苦勞等について、まずは事務局からお話いただければと思います。

事務局

今年、このウイルスの影響もあって、かなりバス・タクシー事業、苦しんだ状況があったと思っています。利用の状況についても、先ほどの雪もそうですし、学校が休校になった期間、あるいは観光客が来ない期間、維持を図るのに苦心した1年だったかと思っています。

そのうえで、いつ解除されるか、戻ってくるかまだわからない状況ではありますが、一丸となって協力しながらやっていきたいと思っています。

もし、バス、タクシー事業者様から何かあれば、一言いただければと思います。

会長

それでは温泉バスのみなさん、何かご苦勞がありましたら、ご紹介いただければと思います。

委員

去年の1月16日にコロナウイルスが日本に入ってきました、1年とちょっとが経ちました。今までこの仕事に携わっている中、いろんな災害がございました。阪神大震災だとか、熊本の地震。今までの災害ですと収入が入ってこない、仕事がキャンセルになる、そういったことだけでした。

今回のコロナウイルスは収入が入ってこない、そのほかに、会社から出ていくものが多い。たとえば、マスクだとか消毒液だとか、いろいろなことで設備にお金がかかる。今までにない状況。お客様に対しても、いつ戻るといいう明確なものもないし、この先あまり明るくないという状況で苦慮しているところです。

会長

乗り合いタクシーのみなさん、いかがでしょうか。

事務局

本日、乗り合いタクシーをさせていただいている委員はご欠席となっております。

乗り合いタクシーの状況につきましても、今、委員さんがおっしゃられたような状況で社内の消毒だとか人数制限を設けるということで感染対策に取り組んでおりまして、苦しい中ではありますが、維持に努めているという状況です。

タクシー関係の、委員から一言あるということなので、お願いします。

タクシー

現況を説明させていただきますと、県内の状況みても昨年の第3波が来る前は非常に好調、県外からたくさんのご利用がありまして、加賀温泉街も含めて非常に賑わっていて、宿の予約がとれないという声もあったので、人の流れも良かったのではないかと状況でした。

そこへ年が明けて緊急事態宣言が出て、それからグッと人の流れが減りました。

東京、関西、大都会が止まると地方にまで人が来ない。影響が大。最近では金沢方面においても、片町など、人が集まる地域から感染者が出ましたので、今ストップしている暗い状況になっています。

タクシー業界としても、コロナが拡大してから非常に苦労しているというのが現状であります。雇用助成金をいただいてやっている会社もありますし、やってない会社もあります。

またやはり、会社も経費がかかりますので、全社員を出すわけにいかないということで、出社制限をしたりして、ほとんどの会社が半分くらい止めている状況だと聞いています。

トンネルの先はまだ見えないが、早く人に来ていただいて、賑わいが戻るように、そういう状況にならないとすべての活性化にならないと思っています。

会長

CANBUS のみなさんにはまた後ほどお聞きしたいと思います。

観光協会、温泉関係の事業者のみなさんも多いですから、一番苦しい状況ではないかと思えます。共有化して、お互い助け合う、そしてコロナ対応にしろ、経済の復興にしろ、なんらか知恵を出していければいいと思っています。ありがとうございます。

ご質問ほかにありませんか。また後ほどでもけっこうです。よろしくをお願いします。

3. 審議

会長

それではこれから議事に入ります。

加賀温泉バスさんの運行内容の見直し案がございます。

委員

弊社では4月1日木曜に加賀市内の一般路線バスのダイヤ改正を予定しております。本ダイヤ改正につきましては今年度の現行の運行本数を維持したうえで、お客様の利便性を考慮した対応になります。

具体的な内容ですが、JR北陸線のダイヤ改正に合わせた一部変更、それから朝、8時台における大聖寺線から山中線、片山津線への乗り継ぎを考慮した変更、その次に山中線におけるバス停名の変更ということになります。温泉特急につきましては、変更はありません。

ダイヤ改正につきまして、お手持ちの資料5～6ページを説明させていただきます。

具体的には左上の温泉～山中線ですが、加賀温泉駅8:30発山中行きを8:35に変更いたします。次に、加賀温泉駅9:05発は現行、こおろぎ橋経由の便をゆーゆー館前経由に変更したいと思って

おります。それから加賀温泉駅 9:45 発山中行きを 9:50 発に変更を予定しています。その下の 10:40 発栢野行きですが、現行ゆーゆー館前経由で運行していますが、こおろぎ橋経由に変更したいと思っています。続きまして、温泉～大聖寺線、加賀温泉駅 7:30 発、かが交流プラザ行きを 7:20 に変更を予定しています。吉崎線、加賀温泉駅 10:30 発塩屋行き 10:25 に変更を予定しております。その折り返しとなります 11:20 発加賀温泉行きを 11:15 に変更を予定しております。以上 7 便のダイヤ調整を予定しています。

続きましてバス停名の変更ということで、6 ページの路線図を見てください。山中線ですが、現行、加賀市農協前というバス停を JA 加賀前に変更を予定しています。それから山中診療所前をぬくもり診療所前に変更を予定しています。山中支所前をゆめ街道と変更したいと思っています。以上 3 か所につきましては、いずれでも施設名の変更、施設の移動に伴うものであります。

以上、見直し案の説明となります。

会長

みなさんからご意見ございましたらお聞きします。私の画面ですとみなさんの挙手が見えにくいものですから、事務局のほうでわかりましたらお願いします。

事務局

挙手はいまのところございません。

会長

ありがとうございます。

ダイヤ改正の目的は、当然、利用者さんだと思いますが、何か利用状況に傾向がありましたらご説明していただくと、よりわかりやすいかなと思います。

委員

簡単に説明しますと、毎日常務している乗務員が、お客様の要望を聞いて、そういったものと私どもの思いを調整したうえで時刻の改正、また、1 便だけ経路を入れ替えた便がありますが、これはお客さまからの要望ということでお応えしました。ゆーゆー館前経由の時間を入れ替えたんですが、これについてはお客様の要望というので、難しいことでもなかったもので、利用しやすいようにということです。

会長

それでは、異議がないようでしたら、承認ということでよろしいですか。

ありがとうございます。承認とさせていただきます。

次に CANBUS の見直し案につきましてお願いします。

見直し案の前に最近の状況をちょっと説明いただければと思います。

委員

令和 2 年緊急事態宣言を受けて、経営ができないということで宮元市長にお会いさせていただきました。海回り線は地域住民が利用されてるということで、生活路線をサポートしようと海回り線を特化させて運営をしました。

結果的に現在、海回り線しか動いておりません。旅館休業、土日祝日だけの営業。周遊施設も土日祝日だけ、あとは休業されてる。そういう中、バスを走らせるのも出来ない状況で、現在 2 台、本来なら 5 台もしくは 4 台で CANBUS を動かしていましたが、加賀市の生活路線の維持ということで、加賀市の支援を受けながら運行しているのが実情です。

それでは議事に入らせていただきます。

7ページをご覧ください。

CANBUS は先ほど申し上げた通り、観光主体で 21 年前に立ち上げた会社です。いろいろな地域の路線バスでは対応が難しいという中で、CANBUS が代替えをさせていただくという形でやってまいりました。

それで今回、新しい路線を新設いたします。CANBUS の橋立～動橋線の新設について。橋立地区を起点に金明地区、湖北地区、片山津地区を經由し、動橋駅付近を通して加賀高校前を終点とする路線を新設いたします。この目的は、現在、大聖寺高校、大聖寺実高へ加賀市の生徒が行くという路線が 3～4 年前ですか出来上がって、おかげさまで、朝夕 35 名利用していただいています。引き続き加賀高校、小松方面に行かれる生徒さんがいるということで、動橋駅の JR の時間に合わせて、駅の中に入って転回することはできないので、JA のキャッシュコーナーにバス停を作らせていただくということで、実施したいと考えています。

これは県立加賀高校、小松以北に所在する高校に通学する生徒の利用を想定しております。

それから「一白」というバス停を新設いたします。時刻はここに書いてあるとおりです。

日曜と祝日だけは運休して月～土、走らせていただくことになっております。

運賃ですが、全区間片道 300 円、8 回利用の回数券を 2000 円で販売します。バス車内でも買えるようになっております。1 か月定期、初期の導入ということで、4000 円と考えています。この金額については割引料金という設定で今回導入させていただきまして、社会状況、いろんなことを見て、また検討させていただくことになっております。

8ページをご覧ください。「一白」という停留所は、現在の循環線とよく似たところを走るのですが、町内を入るところに県道が走ってしまっていて、そこに新設をいたします。

JR 動橋口ということで、JA のキャッシュコーナー、精米機のあるところに作って加賀高校の前に入ります。これが新設する経路です。

9 ページに入ります。片山津～橋立循環線の変更について、名称の変更と、バスダイヤの一部改正。実は漏れがありました。追加がありまして、「一白」のバス停を新設するというのを一部変更の中に追加お願いします。大変申し訳ございません。

バス停の名称は、篠原というバス停は海回り線にもありますが、篠原派出所の前にあるバス停ですが、橋立循環線を走っているのはクロネコヤマトのほうにあるので、バス停の名前を新篠原に変更させていただきます。

ダイヤ改正というのは実際走っていて、片山津温泉地域、それから湖北地区の時刻が少し見直しできるとわかったので一部修正しております。

それから山回り線の減便ということで、加賀温泉郷にお越しになるお客様は JR 北陸線でお越しになるが、30 分に 1 本走っていたのが、サンダーバードが 1 時間に 1 本になっております。予約状況を見ましても、土曜日曜祝日、満席にはなっておりません。そういったことで、新型コロナウイルスの影響により、乗客数が大幅に減少、その回復も見込めないことから、当該路線を減便させていただきます。内容については別紙のとおりです。

次のページを見てください。

今後はバス 2 台で山回りと海回りを運行します。時刻は旅館を 9 時半～10 時に出られて、加賀温泉駅に 10 時～10 時 20 分ごろというのがこれまでの経験です。お帰りはサンダーバードの 2 時 20 分、40 分ごろの電車ということで、なんとかそれに合うような形で作りました。

ただ、施設も現時点で土日祝日しか開館しておりません。旅館もお客様の入り込み状況を見て

は、平日休館されているところもあります。

CANBUS はあくまでも 4 月 1 日からこの計画で運行させていただきますが、小松空港の運休についても説明しますが、東京からの飛行機が日に現在 2 便、3 便しか飛んでない。千歳線も飛んでない。いろいろな状況で小松空港線は当面の間、運休とさせていただきます。

そういった状況でこの 11 ページの時刻を組んでいます。社会状況が回復してくれば、小松空港線の復活とかを考えております。いろいろな状況の中で、生活路線を維持するということで、やむを得ず、海回り線だけが運行せざるを得ないということも、この場で申し上げておきたいと思っております。

休止・休業路線の廃止です。現在、休止中の各路線について今後再開する予定はないものは廃止する。新しい道路ができたのもともと休止ということで申請しておりましたが、この度改めて廃止ということで、案件に載せさせていただきました。

以上 4 月 1 日から新しい路線で、地域住民の足とならせていただく。CANBUS は、3 年後になりますけども、北陸新幹線伸長開業のときには、加賀温泉駅を周遊するバスとして存続させていかなければならないと、会社として思いを持っているので、この状況をなんとか乗り越えたいと考えております。

会長

ご意見、ご質問ございましたらお願いします。

委員

バス停の新設ですが、国土交通省で危険なバス停ということで全国的に今、そういうバス停があれば急いで整理するというのがありまして、安全面を考えての設置というのを慎重に進めていただければと思います。

委員

今、ご指摘がありましたこと、実は写真を撮って運輸支局の方へご相談をしながら進めさせていただいています。大事なことは、バスが止まって後ろから追い越ししてはねられたとか、追突したとか、よくありますので、今回動橋の駅に入れたいが旋回ができないので、マイカーがいると渋滞を起こすということで、やむなく JAさんのところに止めさせていただくが、これも JAさんや加賀高校のほうにも、お話をさせていただいてご了承いただいています。

会長

わかりました。他にみなさんよろしいでしょうか。

それでは審議は以上でございます。

4 報告

会長

報告事項ということで、MaaS 事業の経過報告を事務局で準備いただいています。

よろしくをお願いします。

事務局

(経過報告)

会長

具体的に説明いただきましたので、わかりやすかったかと思えます。

ご意見を頂戴したいと思います。高齢者、お子さん、観光客、3 つに分けて、そしてあとは全体ということで、ご意見いただければと思います。高齢者 25 名を対象にして実証されたというこ

と、これに対していかがでしょうか。

委員

いい試みだと思います。期待しています。

委員

高齢者の中で、行くところがない、何をしたらよいかわからないという方が結構おられますので、これをやっていただいて、高齢者も行くところがある、楽しい健康な生活が送れる第一歩になるので非常に良いことだと思います。ぜひ、続けられて、毎日希望が持てる活動ができる方向に進んでいければ幸いです。

委員

やはり、スマートホンを上手に使うことができるのかというのが、少し気になりますが、そのへんはいかがでしょうか。

事務局

高齢者の方につきまして、一番ネックになってくるのが、先ほど委員からお話がありました。スマートホンの取り扱いというところになるかと思えます。

我々の世代であっても初めて触るアプリケーションとなると戸惑いがあります。今回の実験用アプリケーションも同じで、初めは私もわかりませんでした。

今後の広め方の指針としては、今こちらのほうでスマートホンの教室などもやっておりますので、そこと連携しながら高齢者の方に向けても、こういった使い方がしていけるのか、合わせて広めて行きたいと思っています。1回使っていただければ雰囲気とか、どう触ればいいのかとか、慣れていける方もいらっしゃるので、そういった方を中心に利便性を広げていくと。そのうえで、アプリケーション自体も高齢者の方にも使いやすいように、仕様を調整していければと思っています。

ただ、今の時点では、それはあがっていないので来年度以降の課題だと思っています。

会長

スマートシティを目指されているので、高齢者の方もお子さんも、将来は全員が使える、そういうソフトやツールを用意していくということがターゲットになると思いました。

それでは2番目のテーマのお子さんについてご意見ありますか。

委員

私のほうも子どもが大きくなりまして、そういう塾とかの送迎も終わりましたけど、いろいろ経験しましてやはり、お子さんが何人もいらしたりすると送迎が大変だったりするのを自分も思い出します。こういう自分の都合が悪い時にお願いできる場所があれば大変助かると思います。いいことだと思います。

会長

今回の実証が終わって、来年以降はどう事業を継続させようと思っているのか。

今年はみなさんのご努力で4千万の支援を得ていますが、来年もそういうものが可能なのか、あるいは自立しなければいけないのか、そのへん、ご紹介していただけると、みなさんの意見も出しやすくなると思います。

事務局

今年の事業はあくまでも実証ということですので、事業の中でデマンドを走らせて、それを効果検証したうえで、それをアプリケーションシステムに落とし込んでいくというのが今回の内容

になります。今回実証したものが、よかったものなのか、使いにくいものなのかという、検証が必ず必要になってきます。

検証のところまで今年度中にしっかりやりこんで、あと1か月しかないが、事業報告をまとめます。

来年は、今回出てきた課題をさらに向上させる、先ほどお話にもありました、たとえば高齢者にはこのシステム使いにくい、ということになったら意味がないので、そこを使いやすいように変えるであるとか、たとえば塾の時間変更が、さっとそのシステムの中でできるであるとか、そういった課題がいくつもありますので、そこを実証した結果をもとに見直す作業を、来年度上半期くらいを目標に、決まっている話ではないが、早い段階から取り組んでいきたいと思っています。そこまで作りあげるところまではしっかりやらせていただきたいと思うが。そのあと、どうやって運用していくかというのも、合わせて来年の早いうちから検討していく、というようなことです。サービスとして、みなさまのお手元に届くというのは来年の秋口から冬ごろになるのではないかと、担当としてはと思っています。

会長

課題を出して、課題解決して、そしてサービスにつなげる。それを2年3年継続してスマートシティの一つの軸にさせていくということになると思います。いろいろ困っていること、加賀市らしい魅力的なアイデアを出していただけると継続性が出てくるかなと思いました。

最後、観光の分野として、MaaSについていかがでしょうか。

委員

地方において周遊観光を進めるためには、一番に交通の便の悪さがあげられるのかなと思うのですが、それを解消するうえで非常に期待の持てる取り組みであって、協力させていただいています。

ただ、心配なのが、今、コロナでお客様がいないときに、 아이폰のユーザーだけ、そして曜日限定で実証実験するのに、サンプル数がはたして集まるのかという不安はありますが、ぜひこれで得られた知見をもとに今後の展開、住民も訪れた人々もワクワクできるような、アプリ開発などにつながるといいなと、期待をもって見えています。

会長

確かに今のサンプルが非日常な状況でのサンプルに観光関係はなりがちですから、それに留意しながら使って継続して成長していけるようにということでした。事務局は今の心配に対して、どのような配慮をされているか紹介いただけるとありがたいと思います。

事務局

今ほどお話がありましたサンプル数のことですが、2月8日から始めて、観光のデマンド、お客様から、宿泊先から施設までのデマンド交通の要望については、まだ全件で10件ほどでございます。なので、利用者数はまだまだ少ない状況であります。効果検証するために、当初予定していたのは、緊急事態宣言の前なので、100トリップを目標に考えていました。

ただ緊急事態宣言が発令されて、お客様が大幅に減って、そこまでの数字は難しいだろうということはあるながらも、30トリップから50トリップくらいはなんとか集めていきたいというところ。今、ある程度制限をしなければやらないという状況も、緊急事態宣言下でやらなければいけない状況もあるので、曜日を絞ってという形で進めさせていただいたが、今の状況を鑑みますと、これはまた観光交流機構様と別途相談させていただきたいと思うのですが、3月から実

証実験終了の12日までの間につきましては、曜日を限らずやらせていただくという方向も考えていきたいと思っているところです。

実証を進めるうえで、状況を見ながらという中で、対応を検討する中で、昨日、一昨日の話で出てきたところです。機構様と相談できればと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

会長

ぜひご相談いただいて、今最大のニーズは、いかに加賀の魅力を配信して来ていただく、そしてリピーターになっていただく、ワクワク感の提供、魅力の提供ということが普及できたらいいですね。

今の3つの事例ですが、それに関連していろいろご意見をいただけたらと思います。

委員

意見というか、23ページに、実証参加者募集のお知らせって、私もさせてもらわなと思いましたが、 아이폰しか使えない。これはいいですよ。実証実験ですから。現実にするにはアンドロイドも参画できるような体制にさせていただきたいという思いです。機器によって使えないのでは意味がないので、ぜひ、検討というよりも導入していただくような方向で進めていただきたいというのが私の意見です。

事務局

そのとおりでございますが、今回実証実験ということで、 아이폰に限定して進めさせていただいていますが、本導入する際には 아이폰、アンドロイド両方に利用できることを前提に進めてまいりたいと思っています。

会長

大聖寺の警察署から来ていただいておりますが、今回の実証実験なにかございましたらお願いいたします。

委員

免許証の返納の際に、加賀市役所さんからの乗り合いタクシーの券を差し上げますけども、これをお渡しする際に、いつも利用される方は喜んで受け取られるが、あまり利用されない方は、乗り合いということで、知らない人と一緒に乗るのは嫌だなあということで、あまり使わないという方もいらっしゃるの、そういうタクシーにお友達と一緒に乗れるというだけで高齢者の方も喜ばれることだなあと思いました。

会長

お友達と一緒にという、コミュニケーション作り、いいご意見だったと思います。

委員

乗り合いタクシーに関しては、大聖寺署さんが言われたように、使っていない人には訳のわからないことと言われると思います。これも市がいかにPRしていくかというのが大事だと思います。観光でスマホを使って探す、これは面白い、期待できると思いました。私もあちこち行くのが好きなんです、決めないで行く。現地を探すということが多いので、これは期待できるかなと。高齢者は使いにくいといいますが、私も高齢者、これはしばらく我慢せざるをえないのかと。

そのうちにみんな使えるようになってくると思うので期待できると思っています。市へのお願いになると思いますが、外へ出なくなると元気がなくなるというのは事実です。しかし、外へ出たら元気になるというのは、なかなか理解してもらえません。

私も、外へ出たら元気になると乗り合いタクシーに乗ってもらおうと思ったが、なかなか苦労

しました。

市のほうでどんどん PR、これをやってほしいと思います。

会長

ぜひ継承して成功させましょう。外へでるとか、ワクワクとか、輝くとか、そういう易しい言葉で、加賀 MaaS を表現できないだろうかというご意見が前回も出ていましたよね。外へ出て加賀へ行こうとか、みなさんのそういう声をいれて、加賀のブランドになると思います。

お子様も加賀の客も、高齢者も、ご家族も、働いている方も、稼ぐということに繋げないと継続性が出ませんので、働いてる方を巻き込むということで、いいキーワードを見つけていただけるとありがたいなと思いました。

事務局、そのへんはいかがでしょうか。みなさんが加賀 MaaS を見て、こういうことをやろうとしているんだ、自分の今後とか、心構えとか、気持ちを変えようという気持ちになるようなキャッチフレーズが出るといいなと思います。

事務局

前日もそういったご意見いただいておりまして、取り組みは今回の MaaS 実証実験終わったあとに、そのほかの交通サービス、乗り合い号とかバス等、どう連携させていくかと、さらに拡大して良くしていこうと考えております。

その中で、住民の方に受け入れてもらえるワードというのは、すみません、私はまだそこまで考えが及んでおりませんので、ぜひともここはみなさまからご意見いただいて、最終的にサービスを出す段階で PR できるようなワードを、これ使ったらいいんじゃないかとありましたら、ぜひともご意見頂戴しながら完成させたものにしていきたいと思っています。よろしくをお願いします。

会長

ぜひ、このあとでもけっこうです。お気づきになったらお願いします。

元気な方々がみんな結束していけば意味があるかなあと思いました。話を聞いていて、加賀スーパーシティの中にある「稼ぐまち」。稼ぐっていいですよ。

この地域は大同工業さんとか月星さんとか、自動車関係、オートバイとか創業された企業がありますので、そういう企業にとって、今の課題って電気自動車なんですね。電気自動車の部品に入れないというのが課題なので、MaaS の中で電気自動車を走らせるという計画はないですか。

事務局

そこまだ今のところははっきりとしていませんが、MaaS の中には電気自動車というカテゴリも入りますので、そこは今後の課題かなと思います。

会長

カテゴリとしては入るので、すぐ動くかどうかは別として、いずれ電気自動車を走らせて、その部品をものづくりのみなさんが担当していただくと、あるいは、電子機器が入ってくるから、その部品もものづくり関係の方に研究開発していただくと、加工関係、サービス関係、医療、ものづくり、いずれのメンバーが総力戦でスマートシティ、結束されるんじゃないかと思いましたので、ちょっとアドバイスさせていただきました。

それでは今日は審議事項と報告事項ということで、充実した会議だったと思います。

ありがとうございます。

4 その他

会長

それではいつもどおり、副市長さんに最後お願いいたします。

副市長

今日はいろんな話が出ました。じつに参考になる意見もございましたし、コロナ禍の影響、今回聞く中で、いよいよ考えていかなければいけない公共交通のあり方をもう一度考えなおさなくてはならない事態だという実感をもった次第です。

事務局も言いにくかったと思いますが、加賀市のキャッチフレーズのところ、スマートシティ、このスマートというのはカッコイイという意味ではなくて、知恵のあるという意味、知恵がうまくまわっているという意味でスマートシティ、そういうまちづくりをしましょうというふうな方向性だと理解してください。

よく言われるのが市役所はカタカナばかり使って何を言っているのかよくわからんと言われましたので、あえてそのようなことを申し上げました。

先ほど市民の生活の質をあげるというのに QOL という、これもクオリティオブライフの直訳なんですけど、QOL をあげるという方をする場合、考えなきゃいけないのは、ハンディキャップという考え方が大事なんです。

その地域のハンディキャップのあり様というのは違うので、そのハンディキャップをあげていく仕掛けというのは、公共交通の仕組みの中に要るのではないかという認識であります。

そこに出てくるのは、スマートシティを考えていく中でこんな意見がありました。

東京のほうからの意見ですが、加賀市は車がないと住めないまちだ。そんな話がありました。

その町でどうやって定住するのか。我々は考えなきゃいけないテーマの中に公共交通のあり様、車のあり様を考えないといけないというのは、当然になってくるわけです。

そういった意味で、この MaaS についての検討は重要な意味をもってくると思っております。当然、EV の話も出てきます。つまり電気自動車の話ですが、バッテリーが必要なわけで。そのバッテリーをどうするのか、当然ビジネスの話も出てくるわけで、そういうような絡みのスマートシティ図も考えないといけないという話にもなっております。

じつはスマートシティを考えるうえで、一つ一つの事案、事案でなく、全体をうまく絡み合わせる中で機能していくような枠組みが必要なんじゃないかと思っているわけです。

そういう意味で、今、検討している真最中ですが、予算のことを公表できる段階ではありませんので、事務局のほうはなかなか言いにくそうに、これからこれからと申し上げておりましたが、そのへんご理解いただき、やろうとしていることだけは申し上げておきたいと思っております。

それと、スマホの話が出ました。

2022～2024 年にかけてガラケーの機能停止が言われております。高齢者だからスマホの世代じゃないなんて、そんな話はできませんので、来年度からはどんなことがあっても、私も含めて年寄りなので、お年寄りにスマホをもってもらう段取りを考えています。

その仕組みの中に、アンドロイドや 아이폰 という区別はなく、公平な扱いをしなきゃいけない。

インセンティブを与えながら、お年寄りにスマホをもっといただく仕掛けをじつは考えている。ぜひ、地域に帰ったらガラケーやめてスマホ持とうやという話をしていただければと思っております。

結局今、MaaS 対策として市民の足を守る仕掛けというのを、いろいろ具体的に構築しなきゃいけない、事業者だけの責任ではないのではないかと、という感じさえています。

市民として、市全体で考えなきゃいけないような仕組みづくりが、いよいよまとめられてきていますので、その対応の中にビジネスモデルとしてできるような仕掛けはあるのかというのも、重要なカギになってきますので、そういったこともスマートシティの実現のカギになってくるといことをお伝えしたいと思います。

具体的なことは新年度に入ってから、説明する機会もあると思いますので、それまでお待ちいただければと思います。

私自身、今回みなさんからのご意見を聞いて、勉強させていただきました。ありがとうございます。

会長

副市長から、みんなで未来を創ろう。まず、スマホをマスターしろと、いいお話でした。

それでは、これで知恵が出るスマート加賀になったと思います。

ご協力ありがとうございました。

事務局に進行を移したいと思います。

5 閉会

事務局

会長、委員のみなさま、ご審議ありがとうございました。

それでは以上を持ちまして本日の会議を終了させていただきます。

ありがとうございました。